#### 平成30年度「診療所薬剤部門の現状調査」 日本病院薬剤師会 診療所委員会 薬剤部科局長氏名(

\* 調査票は、特に指定がある場合を除き、平成30年6月1日の状況をお答えください。

Α.	基本情報	
<b>/</b> ─\•		

<u>A.</u>	<u> </u>	情報	<u> </u>											
1.	施設	设区分												
該	当する	もの1	つにチェ	ェックを	し、有床	及び.	その他のな	を設の対	場合に	は詳細を	で記入	くださ	۲J	
(1)		無床												
(2)		有床	$\rightarrow$		病床数	(	床)							
					[ 一般	ŭ (	床)	療養	(	床)	その他	<u></u> (	床)	]
2.	対象	患者												
該	当する	もの1	つにチ:	ェックを	うけてく	ださ	<i>۱</i> ۱							
(1)		一般是	患者											
(2)		特定の	の患者(	(従業員	とその家族	族のみ	等)							
(3)		特定是	患者が主	だがー	般患者も	受け入	れている							
(4)		その作	也 (											)
3	職員	数												
а	薬剤	削師数を	をご記入	くださ	<b>61</b>									
(1)	常	勤(	人	.)										
(2)		勢(	人	-	→(常勤換算			人)						
(	四捨	五入して : 1週間の	記入して	ください 8時間が4	N。 -O時間の施	設で、	間を基本と 週4日(6時 処算)=(41	間/日)	勤務の	D薬剤師	が3人在新	い場合		数第2位を
b	医部	一数をこ	記入く	ださい										
(1)	医部	市常勤	(	人)	(2)	医	師非常勤	(在第	籍数)	(	人)			
4.	処方	]箋枚	数											
<u>6</u> 月	1か月	の処方	箋枚数	をご記え	入ください	١。該	当のない	場合は	0 (1	ゼロ) (	とご記入	くださ	さい	
(1)	外来	処方箋	(院内)	枚数	(		枚/月	)						
(2)	外来	処方箋	(院外)	枚数	(		枚/月	)	院外外	<u></u> 见方箋教	発行率	(		%)
(3)	外来	注射剤	処方箋	枚数	(		枚/月]	)						
(4)	入院	処方箋		枚数	(		枚/月	)						
(5)	入院	注射剂	処方箋	枚数	(		枚/月	)						

5.	開設	主体	
該当	する	ちの1つにチェックをつけてください	
(1)		国•自治体 (2) □ 公的医療機関 (3) □ 社	会保険関係団体
(5)		法人 (6) 口 個人 (7) 口 そ	の他
	- ^ -	٠.٠٠	
6.	診療	科 	
貴族	語設の	診療科について、該当するもの <u>すべて</u> にチェックをつけてください	
(1)		内科 ② □ 外科 ③ □ 整形外科 ④	○ 麻酔科
(5)		皮膚科 (6) 口 小児科 (7) 口 眼科 (8)	□ 耳鼻咽喉科
(9)		産婦人科 (10) □ 精神科 (11) □ 神経科 (15)	2) □ 泌尿器科
(13)		その他(	)
主だ	る診療	<b>複科をご記入ください</b>	
(1)	(	科) (2) ( 科)	
7	Œ.#		
1.	医第	安全体制	
該当	する	職種1つにチェックをつけてください	
а	医療	安全管理責任者 口 医師(歯科医師)口 薬剤師 口看護師	口その他(
b	医薬	品安全管理責任者 口 医師(歯科医師)口 薬剤師 口看護師	口その他(
	<i>/-/</i> <b>!</b>		
8.		実績 	
а	<u>6月</u> また	<u>1 か月</u> に算定した項目 <u>すべて</u> にチェックをつけてください。 、カッコ内にその算定件数をご記入ください。	
	٥/١	第定項目	
(1)		薬剤総合評価調整管理料	( 件)
(2)		薬剤総合評価調整管理料連携管理加算	( 件)
(3)			( 件)
(4)			( 件)
(5)			( 件)
(6)		外来後発医薬品使用体制加算3	( 件)
(7)			( 件)
(8)			( 件)
(9)			( 件)
(10)			( 件)
(11)		喘息治療管理料1	( 件)
(12)			( 件)
(13)			( 件)
	_ <del>-</del>		

	算定項目		算定例	<b>‡数</b>
(14)	外来緩和ケア管理料		(	件)
(15)	地域包括診療料		(	件)
(16)	地域包括診療加算		(	件)
(17)	薬剤適正使用連携加算		(	件)
(18)	在宅患者訪問薬剤管理指導1		(	件)
(19)	在宅患者訪問薬剤管理指導2		(	件)
(20)	介護保険における薬剤管理指導		(	件)
(21)	薬剤師が行う介護保険における居宅	P.療養管理指導 P.療養管理指導	(	件)
(22)	入院時支援加算		(	件)
(23)	薬剤管理指導料1		(	件)
(24)	薬剤管理指導料2		(	件)
(25)	薬剤管理指導料3		(	件)
(26)	麻薬管理指導加算		(	件)
(27)	退院時薬剤情報管理指導料		(	件)
(28)	退院時共同指導料1		(	件)
(29)	退院時共同指導料2		(	件)
(30)	薬剤総合評価調整加算		(	件)
(31)	後発医薬品使用体制加算1		(	件)
(32)	後発医薬品使用体制加算2		(	件)
(33)	後発医薬品使用体制加算3		(	件)
(34)	後発医薬品使用体制加算4		(	件)
(35)	医療安全対策加算1		(	件)
(36)	医療安全対策加算2		(	件)
(37)	医療安全対策地域連携加算1		(	件)
(38)	医療安全対策地域連携加算2		(	件)
(39)	感染防止対策加算1		(	件)
(40)	感染防止対策加算2		(	件)
(41)	感染防止対策地域連携加算		(	件)
(42)	抗菌薬適正使用支援加算		(	件)
b	Rの他に、貴施設の薬剤師が調剤料、 Oいてご記入ください	調剤技術基本料以外で算定に	関与している項	
(43)	(名称	)	(	件)
(44)	(名称	)	(	件)
(45)	(名称	)	(	件)
(46)	(名称	)	(	件)
(47)	(名称	)	(	件)

## B. 薬剤師による診療支援業務の実施状況

а	以下の業務 <u>各々について、該当する実施状況</u> にチェックしてください。 ( <u>入院・外来等は問いません</u> )	実施 している				
	実施状況の判断基準の目安 →	かなり	よく	時 々	していない	
(1)	プロトコールに基づく薬物治療管理(PBPM)					
(2)	患者の状態に応じた積極的な処方の提案					
(3)	患者の状態観察に基づく薬効・副作用の確認と結果の医師への伝達					
(4)	薬物療法の経過確認及び同一処方継続可否の提案					
(5)	持参薬(残薬を含む他施設処方薬)の確認・評価とそれを考慮した 服用計画の提案					
(6)	抗がん剤や TPN 等の無菌調製					
(7)	保険薬局への情報提供					
(8)	患者に対する服薬指導・服薬支援・薬歴管理					
(9)	患者状態の把握、服薬指導等を通じた薬学的管理					
(10)	カンファレンス、申し送り、回診等によるスタッフ間の患者情報の共有					
(11)	医薬品の有効性・安全性情報の収集、管理及び提供					
(12)	他の医療スタッフへの助言や相談への応需					
(13)	採用薬の検討・見直し等への提案					
(14)	行政への副作用報告に関連する業務					
). ÷	チーム医療				1	
1C	. 以下の業務に薬剤師としてかかわっていますか ( <u>入院・外来等は問いません)</u> ※スタッフ間で十分コミュニケーションがとれていること	が前担	是とな	りま <sup>・</sup>	す	
<b>a</b>	該当するものすべてにチェックをつけてください	1.				
(1)	<ul><li>□ 院内感染・感染制御</li><li>□ NST(栄養サポーク)</li><li>□ WST(栄養サポーク)</li></ul>	- ト)				
	□ 緩和ケア					

(7)	□ 糖尿病療養指導・透析予防 (8) □	] 腎臓	病・透析ケア	,
(9)	□ 喘息管理・呼吸サポート (10) [	] 禁煙	サポート	
(11)	□ 妊産婦・授乳婦サポート			
(12)	□ 精神科リエゾン			
	〔 □ ① 睡眠障害 □ ② 抑うつ □ ③ 認知症	□ 4 ₹	その他(	) ]
(13)	□ その他(			)
b	プロトコールに基づく薬物治療管理(PBPM)を実施 ご記入ください	もしてい	るものがあり	)ましたら
	- 目は他の紹介・東側等がものましたらで記ってださい			
С	具体的取組み事例等がありましたらご記入ください			
-				
<u>D.</u> §	<u>薬剤師の外来診療へのかかわり</u>			
			□ 行ってい	る (12^ ↓)
11	. 貴施設では、外来診療を行っていますか		口 行ってい	
				, ,
12	. 外来処方箋の院内調剤を行っていますか			
		<u> </u>	行っている	□ 行っていない
	↓ (行っている場合のみ以下の質			↓ ケンセンセク
а	監査について該当するもの <u>すべてに</u> チェックし、(5) 体的な内容をご記入ください	(6) (6)	いては、呉	行っていない場合 13へ
(1)	□ 薬歴等に基づきすべての処方に関して監査を行っ <sup>-</sup>	ている		l <b>,</b>
(0)	□ 薬歴等に基づいた監査を、一部(臨時処方外用薬等	等)を除	<u>き、</u> 行って	
(2)	いる。「大きなに甘べた」如の(ハイリスク芸なた明日)。	アハフヰ	2 <b></b>	
(3)	□ 薬歴等に基づき <u>一部の</u> (ハイリスク薬等を服用して 方に関して監査を行っている	ている法	(百寺) の処   	
(4)	□ 処方監査が施設内情報では完了できない時は、他B			
(4)	方意図等について問い合わせ、当該医師及び自施記 調整している	300医肌	この処力を	
	□ 他職種あるいは他施設との事前協議などにより、気		の調整や適	
(5)	正使用のためのルールやプロトコールを運用してい (内容:	いる。	)	
	□ 他職種あるいは他施設との事前協議などにより、気	<b>心方内容</b>	の調整や適	
(6)	正使用のためのルールやプロトコール運用を準備· (内容:	検討して	ている。	
/ <del></del> /				
(7)	(内容:		)	

b 薬歴等の内容について、薬歴の他参照している情報 <u>すべてに</u> チェックをつり	ナてく	くださ	561	
(1) □ 病名 (2) □ 検査値 (3) □ TDMの結果 (4) □	医	師の!	コメン	<b>/</b>
(5) □ お薬手帳 (6) □ その他(				)
40 時間が変われたしていませか				
13. 院外処方箋を発行していますか 	Ţ			
している		」し <sup>、</sup>	ている	いな
↓ (院外処方を発行している場合のみ以下の質問にお答えください) a 院外処方箋の監査を行っていますか	l	ている	↓ ない場	合
□ 行っている □ 行っていない		14	4^ L	
b 保険薬局に提供している情報について該当するもの <u>すべて</u> にチェックをつけ	ナてく	くださ	<u>ر</u> ا	
(1) □ 病名 (2) □ 検査値等のデータ (3) □ アレルギー歴 (4)			作用	———
(5) □ その他(				)
c 情報を記載している媒体について該当するもの <u>すべて</u> にチェックをつけて<	くださ	561		
(1) <a href="https://www.news.com/"> (1) <a href="https://www.news.com/"> (2) <a href="https://www.news.com/"> 薬剤サマリー (3) <a href="https://www.news.com/"> 処方箋(への検査)</a></a></a></a>	値等(	の併訂	2)	
(4) □ その他(				)
d 保険薬局等との連携において該当するもの <u>すべて</u> にチェックし、具体的なにい	内容を	そご記	3人<	ださ
□ 他職種あるは他施設との事前協議などにより、処方内容の調整や適正使所 つ プロトコールを運用している。 (内容:	用のた	きめの	)ルー.	ルや
<ul><li>□ 他職種あるは他施設との事前協議などにより、処方内容の調整や適正使原</li><li>② プロトコール運用を準備・検討している。</li><li>(内容:</li></ul>	用のだ	きめの	)ルー.	ルや )
□ その他 <sup>(3)</sup> (内容:			)	)
14. 以下の外来診療支援業務を行っていますか				
実施している内容について該当するもの <u>すべて</u> にチェックをつけてくだ さい。	L	実施 /てい	る	実施し
実施状況の判断基準の目安 →	かなり	よく	時々	実施していない
(1) 特に安全管理が必要な医薬品(ハイリスク)の薬学的管理				
② 薬物療法プロトコールについて提案、医師と協働で作成進行管理				
③ 投薬後の処方薬に関する有効性・副作用等モニタリングアセスメント				
(4) 薬物療法の経過確認及び同一処方継続可否提案				

		L	実施ノてい		実施してい
	実施状況の判断基準の目安 →	かなり	よ く	時 々	ていない
(5)	アドヒアランス・コンプライアンスの確認				
(6)	受診している全ての医療機関の把握・処方された医薬品の管理				
(7)	入院の予定が決まった患者の持参薬確認※ ※有床診療所のみお答えください				
(8)	お薬手帳の内容をカルテに記入				
(9)	注射剤の投与や処置時の適正使用(投与前のセッティング、投与後の経 過観察等)への関与				
(10)	疾患治療に関する全般的な説明				
(11)	治療に用いる各薬剤の説明				
(12)	デバイス(吸入器、インスリン注入器等)の適正使用のための説明				
(13)	副作用やその対策等の説明				
(14)	手術に影響のある薬剤の説明				
(15)	使用中の OTC 薬、健康食品、サプリメントに関連する把握と説明				
(16)	24 時間開局(対応)薬局、かかりつけ薬局等、保険薬局に関する情報提供				
(17)	保険薬局への上記 1~15 などの情報提供				
(18)	その他(				
b	対象疾患等について該当するもの <u>すべて</u> にチェックをつけてください		•		
(1)	□ 糖尿病 ② □ 喘息 ③ □ 高血圧症 △	1)	〕高	脂血	 症
(5)	□ 骨粗鬆症 6 □ 関節リウマチ 7 □ 腎障害 8	3)	] 思	性腫	瘍
(9)	□ 認知症 (10) □ 統合失調症 (11) □ てんかん (1	2)	]	$\mathbb{I} \vee$	
(13)	□ 勃起不全 (14) □ 妊婦・授乳婦 (15) □ 手術前				
(16)	□ その他 (				)
С	<b>薬剤師外来として特定の場所等を設けて行っていますか</b> □ はい	۱ 🗆	しい	ハえ	
	薬剤師外来を自費診療として料金設定していますか ロ はい ロ	しいいえ	<b>ر</b> ا	↓ ハいえ(	の提合
d	料金設定している場合 具体的な金額をご記入ください (1回 〇〇円 1時間〇〇円 等)	)		14-€	
е	薬剤師外来以外に実施していること(診療陪席等)がありましたらご記入	くだる	きい		

#### f 外来診療支援業務を評価するデータや事例がありましたらご記入ください

15	15. 外来化学療法他、注射薬投与に関連する診療支援について					
	口 行っ	ている	口 行っていない			
	↓(行っている場合のみ以下の質問にお答えく	(ださい)	↓			
а	該当するもの <u>すべて</u> にチェックをつけてください		行っていない場合 16 へ			
(1)	□ 無菌調製		<b>,</b>			
(2)	ロ レジメンの評価やチェック					
(3)	□ 副作用モニタリング					
(4)	□ 医師と協働したインフォームドコンセント、服薬指導					
(5)	□ その他 (	)				
b	a の対象となる薬剤 <u>すべて</u> にチェックをつけてください	•				
(1)	□ 抗がん剤 ② □ 抗がん剤以外(薬剤名:		)			
		455 1-	—			
16	. 外来患者への向精神薬の処方の適正化への取り	組みに	ついて			
а	該当するもの <u>すべて</u> にチェックをつけてください					
(1)	ロ ベンゾジアゼピン系の抗不安薬・睡眠薬の長期継続使用	回避に努め	かている			
(2)	□ 向精神薬の多剤併用への減量・減薬等に努めている					
(3)	□ (1),(2)の減量・減薬等の処方変更後の患者モニタリング	で実施して	ている			
	〔関与している職種:口 医師 口 院内の薬剤師 口	保険薬局	局薬剤師 □ 看護師〕			
b	処方実績について、該当するもの1つにチェックしてくださ	561				
	1年前に比べて、向精神薬の処方が					
	(1) 口 減ったと思う (2) 口 特に変化はない	١				
	(3) 口 増えたと思う (4) 口 その他(		)			
С	具体的取組み事例がありましたらご記入ください					

1 /	7. 外米患者への抗微生物薬の処力の適正化への取り組みについて						
а	該当するもの <u>すべて</u> にチェックをつけてください						
(1)	□ 急性気道感染症、急性下痢症等に対する不適切な使用回避に努めている						
(2)	□ 対症療法が推奨された患者に対する「抗微生物薬不要の説明」を実施している						
	(関与している職種:□ 医師 □ 院内の薬剤師 □ 保険薬局薬剤師 □ 看護師						
b	処方実績について、該当するもの1つにチェックしてください						
	1年前に比べて、抗微生物薬の処方が						
	(1) 口 減ったと思う (2) 口 特に変化はない						
	(3) □ 増えたと思う (4) □ その他 ( )						
С	具体的取組み事例等がありましたらご記入ください						
18	3. 外来患者への不適切な多剤投薬回避のための取り組みについて						
а	該当するもの <u>すべて</u> にチェックをつけてください						
(1)	□ 多剤投与されている外来患者の処方薬を総合的に評価し、減薬・減量等に努めている						
(2)	□ (1)について、必要に応じ、他の保険医療機関又は保険薬局と連携して対応している						
(3)	口その他(						
b	処方実績について、該当するもの1つにチェックしてください						
	1年前に比べて、内服薬(屯服薬を除く)の多剤投与の処方が						
	(1) 口 減ったと思う (2) 口 特に変化はない						
	(3) 口 増えたと思う (4) 口 その他 ( )						
С	具体的取組み事例等がありましたらご記入ください						

# E. 在宅診療・介護にかかわる地域医療

10	19. 貴施設は在宅療養支援診療所ですか		ロはい			
	), <u>ş</u>		□ いいえ			
00	) / <del>) /</del>	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
20	ノ. 1 <del>기</del>	設もしくは関連法人で介護施設がありますか				
		□ ある	□ ない			
	=+: \\	↓ (ある場合のみ以下の質問にお答えください) はオス 本記 オ ペ ア に イ ー …	↓ ない場合			
<u>a</u>		する施設 <u>すべて</u> にチェックをつけ、施設数をご記入ください	21^			
(1)		介護老人保健施設(施設)	7			
(2)		介護老人福祉施設( 施設)				
(3)		介護療養型医療施設( 施設)				
(4)		介護医療院(    施設)				
(5)		その他(施設)				
2						
_	1. 11	[七沙原・月時に関連する未例で1] フ (いより/)				
		口行っている	□ 行っていない			
а	計	↓ (行っている場合のみ以下の質問にお答えください) <b>引診療について、該当するものすべてにチェックをつけてください</b>	↓ 行っていない場合			
(1)		薬剤師による訪問薬剤管理指導を実施している	22^			
(2)	П	医師の訪問診療に同行している	ŕ			
(3)		保険薬局薬剤師による訪問薬剤管理指導と連携している				
(4)		その他( )				
b			· さい			
(1)		・ 他医療機関の入退院時の薬剤情報等を共有・連携している				
(2)		退院時共同指導に参加している				
(3)		その他( )				
		************************************				
(1)		<b>麦旭設内の条削未務又接について、該当するもの<u>すべて</u>にフェッフをフ</b> 調剤を行っている	1) (\/\colon			
(2)		処方設計支援をしている				
(3)		薬剤管理指導を実施している				
(4)		医薬品安全管理を実施している				
(5)		その他(	)			

Ы	具体的取組み事例等がありまし	たらご記入	ください
u	元仲リルスパログアアリカインはハノのし	ノルンしロルへ	~/CC:VI

## F. 後発医薬品の使用推進

22. 院内採用薬について、後発医薬品を積極的使用するための取り組みを行っていますか					
□ 行っている	口 行っていない	口 行っていない			
<b>\</b>	↓(行っていない場合はaに	↓ (行っていない場合はaにお答えの上bへ)			
行っている場合は bへ	a 具体的な理由が	a 具体的な理由があればご記入ください			
↓ ↓					
b-1. <採用品目	数割合として>				
□ 0~25%	6 □ 25~50% □ 5	0~75% 口75%以上			
b-2. <調剤数量割合として> 診療報酬に準じた算出(※)が可能な場合は、以下についてもお答えください					
外来調剤	数量割合	□ 0~25% □ 25~50% □ 50~70% □ 70~85% □ 85%以上			
	基準値(カットオフ値)	□ 50%未満 □ 50%以上			
	쌍 등 하나스	□ 0~25% □ 25~50% □ 50~60%			
入院調剤 (有床診療所のみ	数量割合	□ 60~80% □ 80%以上			
お答えください)	基準値(カットオフ値)	□ 50%未満 □ 50%以上			
(※) 後発医薬品の数量割合の計算方法 数量割合 = 後発医薬品の数量/(後発医薬品の数量+後発医薬品のある先発医薬品の数量) 基準値(カットオフ値)=(後発医薬品の数量+後発医薬品のある先発医薬品の数量)/すべての医薬品の数量* *「経腸成分栄養剤」、「特殊ミルク製剤」、「生薬」、及び「漢方」を除く					

# <u>G. 教育 • 研修</u>

2	3. 資	格認定(専	門薬剤師、認定薬剤	師等)について	
а	有資	格者について、	該当資格と認定団体を記	入してください	
	ā	配定資格	認定団体	認定資格	認定団体
b				じて該当資格等の具体的内	内容をご記入ください
(1)	(	取得に努めて	ハる資格がある		)
(2)		取得したい資	恪がある		)
(3)	п	` ·			
	(				)
<u>H.</u>	その	他の実施	<u>業務</u>		
2	4. 貴	施設で既設	問以外に薬剤師が実	践している業務があ	りますか
а	該当	当する項目 <u>すべ</u>	<u>て</u> にチェックをつけてくた	<b>ごさい</b>	
(1)		治験の実施に	関連する業務		
(2)		放射性医薬品の	の取扱いに関連する業務		
(3)		健康管理業務の	としての生活習慣病の重症	定化予防対策	
(4)		予防接種、健認	診(検診)等における薬品	品適正使用管理	
(5)		患者や家族の	建康管理•医療相談等		
(6)		その他			)

## | 診療所委員会への要望事項等

7	参療所委員会へのご意見、回答に関する補足または日常業務の問題点等がありましたらご記入ください。 ※欄が不足する場合は、別紙に記載してください。
***	差し支えなければ、メールアドレスをご記入くださ***
	近の場合 設問は終了です ありがとうございました

有床診療所の場合 26へお進みください

### J. 有床診療所のみお答えください

26. 施設の在院	患者数•在院日数		
1日平均在院患者数をご記入ください			
(1) 全病床 (	<b>人)</b>		
② 一般病床(	人) (3) 療養病床 ( 人) (4) その他 ( 人)		
27. 薬剤管理指	導の施設基準に関わる届けを出していますか		
口 届け出ている	口 届けていない		
<b>\</b>	↓ (届け出をしていない場合は次にお答えください)		
届け出ている場合は 28へ	理由をについて該当するもの1つにチェックをつけてください		
4	ロ 施設基準を満たしていない		
	(口常勤薬剤師2名以上を満たさない 口DI室がない 口その他)		
	ロ 施設基準を満たしているが、(人手不足等のため)届け出ていない		
	ロ その他( )		
	<u>.</u>		
28. 入院診療に	かかわる薬剤師数と業務時間		
a 薬剤管理指導業	務にかかわる薬剤師数と業務時間(概算)をご記入ください		
薬剤師数	(1) 常 勤 ( 人) (2) 非常勤 ( 人)		
業務時間(※)	(3) 約 時間/週		
h	設問 27-a に掲げる業務等) にかかわる薬剤師数と 〕) をご記入ください		
薬剤師数	(1) 常 勤 ( 人) (2) 非常勤 ( 人)		
業務時間(※)	(3) 約 時間/週		
c 調剤業務(注射	薬調整等を含む)にかかわる薬剤師数と業務時間(概算)をご記入ください		
薬剤師数	(1) 常 勤 ( 人) (2) 非常勤 ( 人)		
業務時間(※)	(3) 約 時間/週		
X133-51-5 (717)			

29	. 入院中の患者への診療支援業務について				
а	病棟薬剤業務実施加算で努力義務とされている以下の業務について、 実施しているもの <u>すべて</u> にチェックをつけてください		実施 している		
	実施状況の判断基準の目安 →	かなり	よく	時々	していない
(1)	医薬品の投薬・注射状況の把握				
(2)	使用している医薬品の医薬品安全性情報等の把握及び周知並びに 医療従事者からの相談応需				
(3)	入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案				
(4)	2種以上(注射薬と内用薬を1種以上含む)の薬剤を同時に投与する場合における投与前の相互作用の確認				
(5)	患者等に対するハイリスク薬等にかかわる投与前の詳細な説明				
(6)	薬剤の投与にあたり、流量または投与量の計算等の実施				
(7)	退院時の薬学的管理指導				
b	以下の業務について実施しているもの <u>すべて</u> にチェックしてください				
(1)	薬物療法プロトコールについて提案、医師と協働で作成進行管理				
(2)	処方薬に関する有効性・副作用等モニタリングアセスメント				
(3)	薬物療法の経過確認及び同一処方継続可否提案				
(4)	注射剤の投与時の適正使用(投与前のセッティング、投与後の経過観察 等)への関与				
(5)	アドヒアランス・コンプライアンスの確認				
(6)	患者状態の把握				
(7)	患者への疾患治療に関する全般的な説明				
(8)	患者への治療に用いる各薬剤の説明				
(9)	患者への手術に影響のある薬剤の説明				
(10)	カンファレンス、申し送り、回診等によるスタッフ間の患者情報の共有				
(11)	その他 ( )				
С	上記b(1)の「薬物療法プロトコールについて提案、医師と協働で作成進いる場合、具体的な取り組み事例等をご記入ください	行管理	里」を	実施	して

d	入院診療にかかわる薬剤師の業務を評価するデータや事例がありましたらご記入ください
30	D. 退院患者について、保険薬局等に患者情報を提供していますか
<u> </u>	□ している □ していない
	↓ (している場合のみ以下の質問にお答えください) ↓
а	情報を記載している媒体について該当するもの <u>すべて</u> にチェックつけてく じていない場合 31へ
(1)	□ お薬手帳 <sup>(2)</sup> □ 薬剤サマリー
(4)	□ その他(
b	保険薬局に提供している情報について該当するもの <u>すべて</u> にチェックをつけてください
(1)	□ 病名 ② □ 検査値等のデータ ③ □ アレルギー歴 ④ □ 副作用歴
(5)	□ その他( )
С	退院時共同指導を実施、薬剤師が参加していますか
(1)	□ よく参加 ② □ 時々参加 ③ □ 参加していない ④ □ 実施していない
d	貴施設の具体的取組み事例等がありましたらご記入ください
-	
3	1. 入院患者への不適切な多剤投薬回避のための取り組みについて
а	該当するもの <u>すべて</u> にチェックをつけてください
(1)	□ 持参薬(入院前の処方薬)について総合的に評価し、減薬・減量等に努めている
(2)	<ul><li>口 入院中の治療経過に応じて総合的に評価し、ベンゾジアゼピン系薬他、向精神薬の漫然使用等を回避し、処方の適正化に努めている</li></ul>
	<ul><li>口 入院中の治療経過に応じて総合的に評価し、当該患者に対する漫然処方を回避し、</li><li>処方の適正化に努めている</li></ul>
(3)	型力の過止化に劣めている □ その他( )
d	
	X100X497(11 034X1124) \$-13 0.0 03 3 0.0 0.2 3 0.0 0.7

以上で調査終了です。ありがとうございました。